

# Giulio De Padova

## ジュリオ・デ・パドヴァ

2022年8月30日(火)

開場18:30 開演19:00

初来日記念

### ピアノリサイタル

～プログラム～

リスト 超絶技巧練習曲

第11番タベの調べ

ショパン バラード第1番

ラフマニノフ 楽興の時

バッハ=ブゾーニ

シャコンヌ

\*会場\*

### ベヒシュタイン・セントラム東京

千代田区 有楽町 1-5-1 日比谷マリンビル B1

(地下鉄日比谷駅 A9 出口直結)

ご予約・お問い合わせ : [kaori.music.tokyo.j@gmail.com](mailto:kaori.music.tokyo.j@gmail.com)

前売り 4,000 円 (当日 4,500 円)

= 学生特別価格 3,000 円 =

主催 : Kaori Itabashi 板橋香織

# イタリア人天才ピアニスト待望の初来日！



稀に見る美しい音色を持つ  
ジュリオ・デ・パドヴァは  
国内外のコンクールで20回を  
優に超える優勝を果たし同世  
代で最も興味深いピアニスト  
の一人と考えられている。

1986年生まれ。3歳でピアノを習い始め、4歳で最初のコンサートを開催、8歳でフェルモのペルゴレージ音楽院に入学し、E.ベッリのクラスで優秀な成績でレベル2のアカデミックディプロマを取得して名誉賞を受賞。

2009年には、フラウ・キャサリン・ヴィッカーズの指導のもと、フランクフルト・アム・メイン校のアカデミックイヤーに参加。

2014年、マリオ・コッポラ氏と出会いその才能を発揮することを勧められピアノコンクールでの活発な活動を開始した。ソロリサイタルやオーケストラとの共演は100回を超え、特にフェルモのテアトロ・デッラクイラではショパンの協奏曲第1番、ベートーベンの協奏曲第1番と第5番を演奏した。

月刊誌「スオナーレ・ニュース」にインタビューが掲載され、過去3年間の彼の素晴らしいコンサート活動と今後の予定が紹介されたが中でも重要なものは、指揮者タマーシュ・ヴァサーリ氏から直接招待を受けた、ブダペスト音楽院でのブダペスト放送交響楽団とのコンサート、ブカレスト管弦楽団とのコンサート、中国やアメリカを含む世界各地でのソロコンサートなどであった。

リヴォルノ国際ピアノコンクール、ガエターノ・ジネッティ国際コンクール「ソリスト部門」では共に審査員満場一致で第1位を獲得。ニューヨークの「ゴールデン・アワード・オブ・ミュージック」ではラフマニノフの最優秀解釈に与えられる「特別賞」を受賞し優勝を果たした。スペインの第1回ビゴ市国際コンクールで第1位を獲得。マドリードのデリア・スタインバーグ国際コンクールでは、36回の開催で優勝した唯一のイタリア人となった。

ヴァル・ティドーネフェスティバルの「エンリカ・プラティ」コンクールでは、最優秀ピアニストに贈られる「シルヴィオ・ベンガリ」賞と観客賞を受賞。審査員にはリッカルド・リザリティ、オレグ・マルシェフ、マルコ・ディ・バリ、ダニエル・リベラ、シモーネ・ペドロニなど世界のピアノ界を代表する著名な人物が名を連ねていた。

